

# ■ 「まちだ未来づくりプラン」 行政経営基本方針の《主な取組内容》

## 基本方針 1：市民と問題意識を共有し、共に地域課題に取り組む

改革項目	2012～2016 年度の主な取組内容	2017 年度の主な取組内容
きめこまやかな 広報活動の 実現	<p>広報活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広報まちだの配布場所の拡大や、メール配信サービスの拡充、ラジオ広報番組・アプリ・SNSなどを使った情報発信を開始</li> <li>○2016 年 11 月に、わかりやすく見やすい紙面構成とするため、45 年ぶりに広報まちだを改定</li> </ul>	<p>情報発信力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スマートフォンを活用して、ゴミに関する情報を収集できる「町田市ごみ分別アプリ」の配信を開始</li> <li>○子育てに関する情報を目的別、年齢別などで検索ができる「まちだ子育てサイト」を開設</li> </ul>
市民の声の 組織的活用	<p>対話型懇談会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町内会・自治会連合会及び各地区連合会を対象とし、地域の代表者と市長や関係部署の代表が話し合う「市政懇談会」について、意見を聞く場から、地域に関わる課題や問題点に対し、双方が意見を出し合う対話型懇談会へと発展し、実施しました。</li> </ul>	<p>市民の声の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道路の不具合があった場合、市民が簡単に市へ情報提供できる仕組みを検討し、スマートフォンのカメラ機能等を活用して通報ができるアプリ「みちピカ町田くん」の配信を 2018 年 4 月から開始</li> </ul>
市民との 協力関係の 構築	<p>市民協働による地域社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2013 年 12 月に策定した「町田市『協働による地域社会づくり』推進計画」に基づき、地域の課題解決を図る地区協議会の設立準備に対する支援や地域活動室の設置、地域予算の交付、地区担当職員の配置を行いました。</li> <li>○2017 年 3 月に、地域団体の支援体制の創設等を掲げ、協働による地域社会づくりを目指す後継計画として「町田市地域経営ビジョン 2030」を策定しました。</li> </ul>	<p>オープンデータの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○オープンデータのコンテンツとして新たに「マンション台帳」「コミュニティバス停留所一覧」等を追加</li> </ul>
外部意見の 活用	<p>包括外部監査の実施と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町田市の包括外部監査報告書は、全国市民オンブズマン連絡会議が毎年作成している包括外部監査の通信簿で、2014 年度と 2016 年度に「活用賞」を獲得</li> <li>○町田市の包括外部監査結果の活用では、2010 年度実施分から 5 年連続で「A」評価を獲得</li> </ul>	<p>市民参加型事業評価の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民と有識者が構成する評価人チームが事業担当者と事業の課題や解決策について対話し、評価を行う事業評価を実施</li> <li>○評価結果及び意見の総括を踏まえ、市が事業の改善を実施</li> <li>○高校生が全国で初めて評価人として参加</li> </ul>

## 基本方針 2：市民の期待にこたえられるよう、市役所の能力を高める

改革項目	2012～2016 年度の主な取組内容	2017 年度の主な取組内容
職員の 意欲向上	<p>職員の人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第3期の町田市人材育成基本方針を策定し、職員が「めざす職員像」へと成長するためのキャリアシートを作成しました。</li> <li>○職員が長所と育成点を把握し、自分づくりに役立つよう、人事考課の評価項目別の 1 次評価結果通知書を作成し、職員へ送付</li> </ul>	<p>ワーク・ライフ・バランスの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○都内自治体で初めて時差勤務制度を実施</li> <li>○定時退庁の徹底や時間外勤務時間の見える化等により、時間外勤務時間を 52,032 時間削減（2015 年度比）</li> </ul>
人材の 育成と登用	<p>技術職の社会人採用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○技術職（土木技術職、機械技術職など）の社会人経験者を対象とする採用試験を実施し、即戦力となる人材を確保</li> </ul>	<p>有用な人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新たな採用選考方法として、SPIの導入を検討（2019 年度から本格導入）</li> </ul>
組織経営機能 の強化	<p>職員定数の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市役所の効率的な執行体制を構築するため、業務の見直し等により、職員定数を 2,195 人とし、67 人の削減を実現</li> </ul>	<p>市役所業務の生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町田市の全部署に共通する事務事業の見直し、及び他自治体との比較分析に基づく事務事業の見直しにより、20,159 時間の稼働時間を削減</li> </ul>
管理運営形態 の多様化	<p>コンビニ等を活用した市民サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コンビニエンスストアで交付できる証明書について、2013 年度に、住民票及び印鑑証明書の 2 種類から、市・都民税課税証明書や戸籍事項証明書等を追加し、6 種類に拡大</li> <li>○コンビニエンスストアにおける証明書交付を取り扱う事業者を 1 社から 4 社に拡大</li> </ul>	<p>公用車運転業務の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○交換便運転業務の効率化とリース車両の導入に向けた計画案を検討</li> </ul>

## 基本方針 3：いつでも適切な市民サービスが提供できる財政基盤をつくる

改革項目	2012～2016 年度の主な取組内容	2017 年度の主な取組内容
財政運営の 最適化	<p>管理会計機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国の市区町村で初めて、複式簿記・発生主義の考え方に基づく新公会計制度を導入し、2013 年度に、町田市版財務諸表を完成（事業別・部別・会計別）</li> <li>○2015 年度からは、課別・事業別行政評価シートを「主要な施策の成果に関する説明書」として議会に提出し、決算審査に活用</li> </ul>	<p>財務会計事務の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○財務会計事務の効率化と紙文書の削減のため、9 月に新たな財務会計システムを稼働</li> </ul>
徹底した歳出 の削減と歳入 の確保	<p>既存事業の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2015 年度からベンチマークを活用した業務改革に着手し、同一法令に基づく基幹業務について、業務のプロセス、コスト、サービス等を他自治体と比較し、得られた知見や気づきを活かした業務改革を実施</li> </ul>	<p>歳入の確保策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広告募集により、広告料収入を確保</li> <li>○自販機を設置したこと等により、貸付料等の収入を確保</li> </ul>
市有財産の 戦略的活用	<p>市有財産の戦略的活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）の策定</li> <li>○学校法人桜美林学園との学校跡地活用に係る基本協定締結</li> </ul>	<p>すみれ教室のあり方見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○0 歳から 18 歳未満までの障がいや発達に心配のある子どもを対象に、家族や関係機関を支援、就学後も切れ目なく一人ひとりに合った支援を行うため、「町田市子ども発達支援計画」を策定</li> <li>○「すみれ教室」を「子ども発達支援課」へと組織を改正し、療育・相談体制を充実</li> </ul>